



ご自由に!

まちあるきマップ

西ノ島 三度

地図

西ノ島の西端
天照大神伝説!



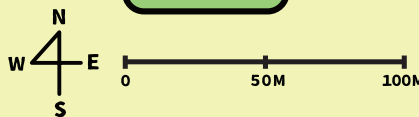
三度、ココです。

地図

西ノ島

まちあるきマップ

三度



「正月つあん、正月つあん、どこまでござった。三度のカドまでござった。」という島前各地に残る古いわらべ唄にも登場する三度地区は、昔から武士や医者かいたとも伝えられており、相当な歴史を持った土地柄だと考えられています。

西ノ島のとど猫

ニホンアシカを西ノ島では「とど」と呼び、三度はとど猫の最前基地として、明治から大正にかけ捕獲されていました。現在では、乱獲や戦争、気候変動などの原因により、1970年代の目撃情報を最後にニホンアシカは姿を消してしまいました。



三度港

西ノ島で唯一
外海に面した港!

バス停
(三度)

昔の防風石壁

さるたひこ
主祭神は猿田彦大神。
あめのうずめ
天鈿女命が祭神の神社
と合わさってできたため鳥居
が2つ並んでいます。

寺には、明治から大正にかけ
盛んだったとど猫で獲ったとど
(ニホンアシカ)を飼育するための
「とど塚」が建てられています。

日露戦争で
流れついた
ロシア兵の
墓があります。

待場神社は
江戸時代に
ここから
移転されました。

天照大神降臨伝説

神代の昔、天照大神は三度の北にある「大神」という海の「立島」に降臨されました。この島にはこの時の「お腰掛の石」があります。やがて天照大神は三度湾に船を入れ「生石島」に上陸されました。最初この場所から海岸に目をやると人影が見え、「人のいそもない海岸に、不思議なことだ」と、そこへ行きましたか、誰の姿もありませんでした。そうしたことが三度あり、三度目には意を決してその先の集落まで足を運んだことから、ここを「三度(みたべ)」というようになりました。人影の正体は、この場所にお迎えに出ていた猿田彦命でした。猿田彦命が天照大神を待っていたところには神社が建てられ、「待場神社」と命名され、現在まで崇拝されています。

待場神社

入り口には若者
がカビベに使用して
いた「カ石」があります。
持っているかな?

三度もー館
(集会施設)

三度川の護岸整備の記念碑

三度川

戦前は自然のままの小川で
たびたび氾濫していました。
その後、石垣で整備された
護岸が今も残っています。

お墓

お墓からは
三度湾を望むこと
ができます!

鬼舞展望所へ続く山道
2本の道はこの先で合流

大田川



発行 (一社)西ノ島町観光協会 TEL:08514-7-8888
企画・編集 地域おこし協力隊 2015.12
参照文献: 隠岐西ノ島の今昔、運河のある町

